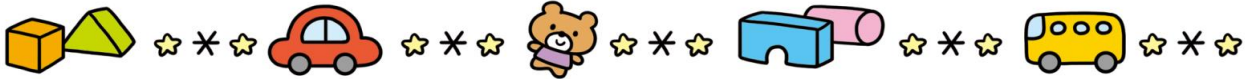




立春を迎え暦の上ではもう春。しかし、まだまだ寒い日が続きますね。インフルエンザが流行し、すくすくひろばでもインフルエンザで利用される方が多いです。乾燥にきをつけ、外出したら、手洗い、うがいをし、たっぷりの睡眠と栄養補給で元気に乗り切りましょうね！！



お子さんが発熱した時どうしていますか？

- ①『食べる、飲む』②『寝る』③『遊ぶ』  
できていれば、心配はありません。

熱が出るのは良いことなので

『熱が出て辛そうですが実は、、、』

- ・熱は自分の体が**病気に気付いたサイン**です。
- ・熱は自分の中の体の戦士である**白血球や酵素**をたくさん作らせ**抵抗力**を上げます。
- ・熱はウイルスや細菌をやっつけるための**蛋白質(酵素など)の働きを活発**にします。
- ・熱はウイルスや細菌の**居心地を悪く**します。つまり理にかなった正しい生体反応なのです。

心配すべき発熱

- ・生後3ヶ月未満の発熱
- ・4日以上続く発熱→細菌の重症感染や川崎病などの他の病気の可能性がでてきます。
- ・ぐったりしている。
- ・水分が摂れない



異年齢でも仲良く遊び、製作を楽しんでいます♪

熱は出ていても大丈夫ですか？

- ・熱が高いことと病気の重さは関係ありません。
- ・熱だけで脳に異常がくることはまれです。(脱水・神経症状などの合併症がなければまず、問題ありません。)

解熱剤を使ってもよい場合は？

- ・熱による**苦痛を一時的にやわらげる**目的での使用は非常に有効です。例えば高熱で眠れない、機嫌が悪い時など。
- ・平熱まで下げる必要はありません。熱が少しでも下がると楽になる(見ている両親も)メリットがあります。
- ・解熱剤の使用で1℃下げれば十分効果が出たと考えてよいでしょう。
- ・解熱剤を使うタイミングは、熱が上がってきた時(手足が温かくなった時)に使うのが効果的です。



先月の利用状況

1日あたり(2~13人)

A型インフルエンザ、咽頭扁桃炎、鼻副鼻腔炎、胃腸炎、溶連菌(多い順)

	全体合計	0~3歳未満	3歳~5歳未満	5歳以上
高砂市	118人	37人	17人	64人
加古川市	46人	9人	14人	23人
その他の市	8人	0人	2人	6人
合計	172人	46人	33人	93人

病児保育室の詳しいご案内は  
こばやし小児科ホームページを  
ご覧ください♪  
(院長のフログも掲載中！)

パンフレットも受付にあります！  
お気軽に声を  
おかけくださいね(´▽`)

